

1. 科目名 (単位数)	精神保健福祉援助実習指導Ⅱ (C) (再履修) (2単位)	3. 科目番号	SCMP3184
2. 授業担当教員	森田 和美		
4. 授業形態	講義、演習、討論	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	<p>精神保健福祉援助実習指導Ⅰ、Ⅱ、Ⅲは2年時～3年時にかけて、連続して、かつ各実習と並行して、実習事前の準備、実習中の指導、及び実習事後学習を行うようになっている。</p> <p>精神保健福祉援助実習指導Ⅱは、ソーシャルワーク基礎実習に向けての具体的な準備、事後学習、精神保健福祉援助実習第一段階の準備を行い、終了した時点で、下記の目標を達成することが期待される。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 実習コンピテンステストを実施し、実習に必要な基礎的知識の定着を図る。 2) 実習計画の作成を通じて実習の目的を明確化、具体化できる。 3) 事前訪問を実施し、実習生、授業担当教員、実習指導者(スーパーバイザー)との協議を踏まえた実習計画を完成させる。 4) 相談援助技術について理解を深め、実習における専門技術習得のための具体的方法について理解する。 5) 個人のプライバシーの保護と守秘義務について理解する。 6) スーパービジョンについて理解し、適切なスーパービジョンを受ける準備をする。 7) 記録の意義について理解のうえ、適切な記録の記入ができる。 8) 実習目標と実践を照合し自己評価して、自己の課題を明瞭に説明できる。 9) 実習を総合的に評価し、課題を明確化、文書化できる。 		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> ① 精神保健福祉援助実習の意義について理解する。 ② 精神障害者のおかれている現状を理解し、その生活の実態や生活上の困難について理解する。 ③ 精神保健福祉援助実習に係る個別指導及び集団指導を通して、精神保健福祉援助に係る知識と技術について具体的かつ实际的に理解し、実践的な技術等を体得する。 ④ 精神保健福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる能力を習得する。 ⑤ 具体的な体験や援助活動を、専門的知識および技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を涵養する。 		
9. アサインメント(宿題)及びレポート課題	<p>第1回目において、以下の内容について、具体的な提出物等の指示を出す。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 実習コンピテンス確認テスト(1)及び(2)の実施(合格点に達するまで再テストを行う) 2 実習施設の概要、実習計画書の作成 3 ソーシャルワーク基礎実習振り返り 		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】新版 精神保健福祉士養成セミナー第8巻 『精神保健福祉援助実習指導・現場実習』へるす出版、2017。</p> <p>【参考書】精神保健福祉白書編集委員会編集『精神保健福祉白書 2019年版』中央法規。</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 実習に向けて必要になる事前知識が身につけている。 2. 実習に必要な書類の準備ができる。 3. 実習事後に実習での学びを言語化できる。 <p>○評定の方法</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 実習コンピテンス確認テスト 20% 2. 実習に伴う提出物 30% 3. 実習事後の振り返りのための課題 20% 4. 授業への積極的参加態度 30% 		
12. 受講生へのメッセージ	<p>この授業は実習に直結している。この授業期間中に、初めて実習に行き、次の段階の実習に備えます。実習及び資格取得に対する動機を高め、より充実した実習体験を持てるよう、積極的な授業参加態度を期待する。</p>		
13. オフィスアワー	<p>後日通知します。</p>		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	<ul style="list-style-type: none"> ・精神保健福祉実習指導Ⅰの振り返りと確認 ・精神保健福祉援助実習指導Ⅱの講義内容、進め方の説明 ：実習までの流れの確認 	事前学習	精神保健福祉援助実習指導Ⅰで学んだことを振り返る 実習コンピテンス確認テストのための学習を行う。
		事後学習	実習に向けての自己の課題を書き出す。 実習コンピテンス確認テストのための学習を行う。
第2回	<ul style="list-style-type: none"> ・実習コンピテンス確認テストⅠの実施 ・ソーシャルワーク基礎実習、実習プログラム(案)の作成 ：ソーシャルワーク基礎実習の目的と実習の全体像について内容を確認(「実習の手引き」使用) ：実習計画の意義と目的について説明 	事前学習	「実習の手引き」ソーシャルワーク実習についての項目に目を通す テキスト第3章VC「実習計画・実習課題の作成と事前訪問」、第10章「実習指導計画モデル」を熟読する
		事後学習	実習施設・機関の概要、ソーシャルワーク基礎実習プログラム(案)を作成する
第3回	<ul style="list-style-type: none"> ・ソーシャルワーク基礎実習、実習プログラム案の作成 ：自己の実習の意義、目的を再確認する ：実習プログラム案の記入と添削・確認 	事前学習	実習施設・機関の概要、ソーシャルワーク基礎実習プログラム(案)を作成する
		事後学習	実習プログラム(案)について、添削された箇所を再度修正する

第4回	<ul style="list-style-type: none"> ・スーパービジョンと巡回指導の理解 ：スーパービジョンについて理解する ：巡回指導の目的と内容を理解する <ul style="list-style-type: none"> ・ソーシャルワーク基礎実習 実習施設・機関の概要、実習プログラム案の完成 ：スーパーバイザーとの協議に関する説明と確認 	事前学習	テキスト第4章「実習の際に起こる問題への対処、第5章II「実習指導者の役割」、III「実習担当教員の役割」IV「実習担当教員による巡回指導」VII「実習スーパービジョン」を熟読する
		事後学習	実習施設・機関の概要及び実習プログラム(案)持参のうえ、実習施設訪問について実習指導者に相談する
第5回	<ul style="list-style-type: none"> ・実習における個人のプライバシー保護と守秘義務の理解 ：個人情報保護の理解 ：実習中の記録等の取り扱いに関する具体的な注意事項 	事前学習	テキスト第5章IV「配属実習に伴う留意事項」「実習の手引き」資料：「学生が行う現場実習における個人情報保護の手引き」に目を通す
		事後学習	個人のプライバシー保護と守秘義務について、実習生、利用者それぞれの視点から重要な点をまとめる
第6回	<ul style="list-style-type: none"> ・実習記録の理解 ：実習記録の意義・書き方を理解する ：実習記録の書き方演習 <ul style="list-style-type: none"> ・自己評価表の理解 ：自己評価を行う意義と活用方法を理解する ：自己評価表の記入方法を理解する 	事前学習	テキスト第5章VII「実習記録の指導」
		事後学習	日々の出来事を選択し、実習記録に記入する 自己評価表の各項目の意味を再度確認する(不明点があれば、翌週確認する)
第7回	<ul style="list-style-type: none"> ・実習記録の理解 ：実習記録の書き方演習 ：実習記録の取り扱い等に関する説明 <ul style="list-style-type: none"> ・ソーシャルワーク基礎実習に向けての最終確認 ：事故、緊急時対応、保険、注意事項、評価、記録の提出等について ・実習における契約構造の説明と実習生の義務、権利について確認 	事前学習	実習先訪問の報告書を作成する
		事後学習	テキスト、実習の手引きを振り返り、実習に備える 実習記録への記名等実習に向けての最終的な準備を行う
第8回	<ul style="list-style-type: none"> ・ソーシャルワーク基礎実習の振り返り ：グループにおけるディスカッション(実習中に感じたこと、困難だったこと、自己の課題等共有する) ：実習後の必要事項の確認(記録の提出、お礼状の郵送等) ：実習成果発表会について説明 	事前学習	ソーシャルワーク基礎実習のまとめを記入 実習先にお礼状を出す
		事後学習	実習中に学んだこと、課題を学習ノートに書きだす
第9回	<ul style="list-style-type: none"> ・ソーシャルワーク基礎実習の振り返り ：事後学習の意義を理解する ：ソーシャルワーク基礎実習の目標と実際を照合し、自己評価を行う ：ソーシャルワーク基礎実習に関する実習総括レポートを作成 ・実習後の自身の成長を把握する 	事前学習	テキスト第6章「実習事後学習」、第7章「実習評価の方法」を熟読する
		事後学習	実習総括レポートを作成し、実習成果発表会への準備をする
第10回	実習の評価・総括(実習成果発表会)①	事前学習	実習総括レポートの作成
		事後学習	発表を聞いての感想、考察をまとめる
第11回	実習の評価・総括(実習成果発表会)②	事前学習	実習総括レポートの作成
		事後学習	発表を聞いての感想、考察をまとめる
第12回	<ul style="list-style-type: none"> ・ソーシャルワーク基礎実習の振り返りを援助実習につなげる ：基礎実習の課題を明確にし、援助実習における自己の実習目標を明確にする <ul style="list-style-type: none"> ・実習コンピテンス確認テストIIの実施 	事前学習	援助実習における実習目標を書きだす 実習コンピテンス確認テストのための自己学習を行う
		事後学習	実習の手引き、実習プログラムシートについて学んだことを振り返る
第13回	<ul style="list-style-type: none"> ・援助実習に関する理解 ：実習実施時期の確認 ：「実習プログラムシート」の理解(援助実習の目標の理解と目標を達成するための展開方法について) <ul style="list-style-type: none"> ・援助実習、実習プログラム案の作成 ：援助実習の課題を理解したうえで、実習計画を作成する 	事前学習	実習の手引き、精神保健福祉援助実習の項目を熟読する
		事後学習	実習プログラム案を作成する
第14回	<ul style="list-style-type: none"> ・援助実習、実習プログラム案の作成 ：実習プログラム(案)の作成、添削 	事前学習	実習計画を作成する
		事後学習	添削を受けて実習プログラム案を再度作成する 実習プログラム案を持って実習先を訪問する

第15回	・学習のまとめ : 援助実習に向けて、基礎実習での課題、その後の振り返りをまとめる	事前学習	実習先訪問の報告書を作成する
		事後学習	精神保健福祉援助実習指導Ⅱで学んだことと今後の課題をまとめる

備考：実習に関する主な事項と授業回数との関連

実習/実習コンピテンス関連事項	時期	授業回数との関連 *おおよその目安、変動あり
実習コンピテンス確認テストⅠの実施	4月後半	第2回目の授業時に実施
事前訪問2回目	5月中	第4回～第6回授業あたりに学生個別に実施 *実習プログラム案作成のうえ、実習先訪問
巡回教員発表・教員への挨拶	5月中旬～下旬	第5回～第6回あたりに発表。挨拶は学生個別に実施
セルフアセスメントの実地①	SW基礎実習前	SW基礎実習前にセルフアセスメントを実施する
セルフアセスメントの実施②	SW基礎実習後	実習終了後に各自実施し、実習記録に閉じて提出する
SW基礎実習	6月第1週より	第7回～8回あたりが基礎実習前最後の授業
実習コンピテンス確認テストⅡの問題配布	7月下旬	第11回～第12回あたり*夏休み中に予習する
実習コンピテンス確認テストⅡの実施	8月下旬夏休み明け頃	夏休み明けの授業第1回目：第11回～第12回あたりに実施
セルフアセスメントの実施③	第一段階実習前	春期終了前。第一段階実習開始前に実施する